

1年課題

1年前期

デザイン基礎 I

【第1課題】

平面の分割・構成

建築の設計に入る前の準備段階として、丁定規・三角定規・コンパス等の製図用具を使って線を描く練習からはじめ、比例関係などを考えながら平面を分割・構成する。平面分割のいろいろな考え方を参考にテーマを設定、タイトルをつける。

条件：面に表情を付けて仕上げる

(P.04,05)

【第2課題】

立体の構成・表現

ケント紙・段ボールなど平面状の材料を使って立体を制作。作った立体をスケッチし、表現する。

条件：いろいろな材料と立体の作り方、立体表現のための用具と表現方法から自分に適した方法を選択する。

(P.06,07)

【第3課題】

簡単なパースの作図・表現

立体や空間を平面上に表現する為の投象法の原理を理解する。そして、建築でよく使われる、等軸測投象（アイソメ）や斜投象（アクソメ）等による作図、透視図法の基本を習得し、いろいろな建築透視図法、表現方法を勉強し、実際に描いてみる。

条件：簡単な立体の透視図を作図、鉛筆・インキング・着色等によって仕上げる。

【第4課題】

建物のスケッチ

スケッチの練習、コピー課題等をとおして、建築空間のいろいろな表現の方法を試み、透視図法の原理なども応用して実際の建物のスケッチを行う。

条件：キャンパス内の建物をスケッチする。表現は自由。

1年後期

デザイン基礎 II

【第1課題】

作品鑑賞と表現

優れた建築を生み出そうとするならば、まず先人達が作り出した優れた建築を沢山見ることから始めるべきだろう。ちょうど、美味しい料理を食べたこともない人が、いきなり美味しいものを料理できないのに似ている。場所や素材を抜きにしては考えられないのも同じだ。

・優れた建築を体験し、味わう。
・美しさ・感動を表現する。

条件：建物の名称、設計者、竣工年などを調べる。
どの点で優れているのか、文献等で調べ、記述する。

【第2課題】

空間構成と表現

建築的な空間は3次元の立体空間であるが、平面上においても空間を意識させることができることは美術作品の数々が証明している。つまり、空間は複数の

モノの相対的な関係として捉えられる。ここではそうした練習の1つとして、立体を再構成することによって空間を生成する手法について考えてみる。空間のヴォリュームを認識するために、自分自身のモジュールを常に重ね合わせて考える。

・立体を再構成して、美しい空間造形を創る。
・素材の違いによる立体空間の違いを知る。
・立体模型を美しく作る。

条件：3個のオブジェと人（自分）との関係から空間を構成し表現する。

あるいは、自分の室の4倍の立体を想定した後、分割し各パーツを再構成して空間を構成・表現する。

(P.08,09)

【第3課題】

照明器具デザインと製作

私達が日常使用する最も身近で建築と結び付いたものの1つに照明器具がある。木→ろうそく→ガス→電気と生活の中の明かりは発展してきた。この課題では、そうした生活に欠かすことのできない明かりのデザイン→製作→使用といった全プロセスを体験することで、設計行為を考えてみる。

・自分の家で使う照明器具を作る。
・機能とデザインを考える。
・安全を考える。

条件：実用に耐えること。

器具部分だけでなく、コンセントを含めた全体を作る。
素材は自由。

(P.10,11)

【第4課題】

小空間の設計

建築は「生活」とは切っても切れないものであるが、この課題では空間をデザインする楽しさを味わうことに重点を置いて、生活感除外して空間をデザインする。但し、建築的空間は人があってこそ存在するものであることを認識し、何らかの行為と関連して考えてほしい。光と空間と君とが対話し合うような詩的な構想を期待している。

・人間が入ることのできる空間を考える。
・光によって生まれる空間性を考える。
・行為と空間を関係付ける。

条件：4m×6m×9m。
どのように置か、使うかは自由。

(P.12~15)